

# 行政視察報告書

令和7年10月28日

長浜市議会議長 伊藤喜久雄 様

長浜市議会議員 矢守 昭男

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 新しい風 会派視察研修
2. 視察期間 令和7年10月28日(火)
3. 視察場所及び目的について
  1. 滋賀県守山市 守山市市議会 守山市民病院の訪問など  
昨今の病院経営の現状と課題について
4. 調査内容感想等

### 1. 視察の目的と背景について

視察内容の詳細について

#### ① 昨今の病院経営の現状と課題の概要について

平成29年度の赤字決算から平成30年度より8年間の守山市民病院の経営黒字化となりましたが、一般(急性期)病床数の稼働率が令和6年度で82.8%とまだまだ低い状況の課題となります。

#### ② 昨年末からの物価高騰及び人件費上昇等による経営状況と病院内での取組みについて

現在は物価高騰及び人件費上昇等について経営状況について月1回の会議で随時対応をされています。

### 2. 市民病院の指定管理者制度導入後8年が経過する中での新たな課題等につ

いて、あれば宜しくお願い致します。

- ① 今日の社会情勢・少子高齢化の急速等・の変化に伴う新たな経営課題等について

人口減少・少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化や医療の高度化、医師・看護師等の人材不足など、病院経営を取り巻く環境は、厳しい状況が続いており、依然として持続可能な経営を確保しきれない病院が多いのが現状です。

3. 国が策定した「公立病院経営強化ガイドライン解4年3月」への対応について

- ① 役割・機能の最適化と連携の強化について

湖南圏域では、高齢化の進展により将来に向けた回復期の医療需要の増加が見込まれることから、急性期を経過した患者への在宅復帰に向けたリハビリテーションを提供する機能を更なる充実する為に守山市民病院は、済生会滋賀県病院と急密な連携のもと、公立病院として急性期から慢性期までの機能を維持しつつ、回復期リハビリテーション病棟とリハビリテーションセンターの機能を充実を一層図るかとで、より専門的で質の高い診察を行い、在宅復帰を支える地域の中核病院としての医療需要に対応をされています。

- ② 医師・看護師等の確保と働き方改革について

滋賀県済生会のネットワークを十分に活用し、大学病院や済生会滋賀県病院等との連携強化により医師や看護師等の確保や派遣を依頼し、適材適所の配置できるような人員体制を整備されています。

- ③ 経営形態の見直し・指定管理期間満了後の経営譲渡等・について

守山市民病院は、平成30年4月から滋賀県済生会を指定管理者として、済生会守山市民病院に経営移行してから8年が経過していますが、病院経営も黒字化ではありませんが、令和15年度には滋賀県済生会へ経営を譲渡されます。

- ④ 施設・整備の最適化について

デジタル化への対応として、患者の医療DXの基盤となるオンライン資格確認への対応や短期的な取組でオンライン診察やクレジット決済を導入など実績をつまれています。

長期的な取組ではIT人材の確保やサイバーセキュリティリスクの確認、組織全体での管理体制の構築をされています。

⑤ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組みについて

毎月1回の開催をされて、定期的な会議で済生会守山市民病院内感染対策指針を踏まえて、院内の感染予防とコントロールをきめ細かに実施すると共に院内感染対策委員会を開催し、速やかな対策を決められる。

⑥ 経営の効率化等について

- ・経費の削減や抑制対策で経営の効率化するため医療従事者の負担軽減策や働き方改革による業務効率化
- ・タスクシフトやシェアの推進(医師等の長時間労働環境改善)

4. その他

① 長浜市においては、諸般の事情により地域医療再編の遅れや市立2病院の経営悪化に向けて、現在取組み中です。貴病院経営の中で参考となる事項があれば教えてください。

- ・指定管理者制度導入に向けて半年で出来たので、議会の理解や協力。市民の方々の意見をお聞きしても進めて欲しいなど運営体制を進める上での必要不可欠の状況などがあります。

5. 行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

守山市民病院の経営状況を緩和見ても長浜市も同様に財政状況が厳しい中で医師確保の課題解決策として経営の効率化を図り経営黒字化している守山市の制度運用の実績や成果を把握して長浜市も病院再編、病院再建に向けた取組になる視察目的の内容となります。

2. 視察内容の詳細について

- ・病院再編にあたり、地域住民や医療関係者への説明・合意形成の進めについて地域住民に対して、市の広報誌等を基本方針に掲載し、その後も指定管理者制度導入の経過から移行までの記事を定期的掲載するなど地域住民への説明に努

められ、医療関係者(病院職員)に対して、組合との交渉を多く開催をされている事が非常に重要とのことで参考になりました。

・再編後の地域医療体制への影響の評価について

守山市民病院は指定管理に移行し、8年間が経過しましたが、指定管理者病院会計は、医業収支黒字経営で推移しているものの、政策医療の提供に対する政策医療交付金等の収入を含めて黒字経営で安定した経営を続けておられます、長浜市においても指定管理者とで安定した病院経営に努めると共に持続可能な医療提供体制を構築して頂きたいです。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

全国の病院経営は赤字となり財政状況が厳しい中で病院再編、病院再建に向けて取り組んでいる中で守山市は半年で守山市民病院は指定管理者制度の導入後も行政、議会も責任を放棄することなく、医師確保、病院運営体制での積極的に取組でおられる事を参考にして、長浜市においても今後の取組で病院事業管理者と長浜市も病院政策にとって課題解決に向けた取組を進めることを目標にします。